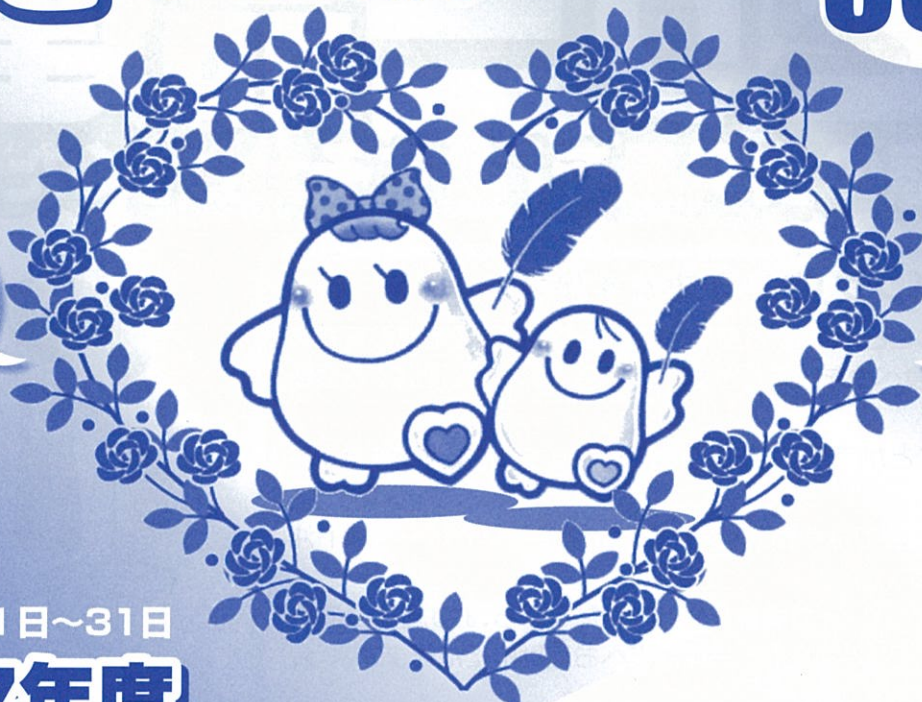


みんなでささえあう
ほっとなお正月

目標額
350万円

ほっ!



ほっ!

運動期間:12月1日~31日

平成27年度

歳末たすけあい募金

お願い

戸別募金→1世帯300円・職域募金→ひとり300円を「目安」としています。

※募金は個人の自由な意志が尊重されます。よって金額を限定したり、強制するものではありません。

※歳末募金は、市民の市民による市民のための運動です。集められた募金はすべて沖縄市で活用されます。

今年も皆さまのあたたかなご支援をよろしくお願い申し上げます。

沖縄市共同募金委員会:沖縄市住吉1-14-29 ☎937-3385

昨年(平成26年度)の募金実績は次のとおりです。ご協力ありがとうございました!!

内 訳	金 額 (円)	世 帯 数
歳末義援金	3,448,000	246
法外援護金	392,608	7
島マス記念塾	429,000	—
小 計	4,269,608	253
配分調整額	205,030	—
合 計	4,474,638	253

【歳末義援金】 失業や病気など、さまざまな理由で生活に困っているご家庭に対して、年末年始を明るく過ごしていただくよう応援する費用です。

【法外援護金】 今ある法律や制度ですぐに対応できない場合、生活困窮者への緊急一時的な支援として、この費用が役に立っています。

【島マス記念塾】 「チムグリサン」(施しが必要な人を見て見ぬふりするときの我が心の痛み)を信条とし、戦後福祉の母と呼ばれた故島マスの精神哲学を継承することを目的とした次代の人材育成塾です。現在23期。

【配分調整額】 上記のほか、福祉支援費や災害対策費など、不足なく補うことができるように配分調整する、過年度からの繰り越し金です。

根拠法:社会福祉法 第10節共同募金 第112条~124条

ひとり一品運動

ご家庭の食料品を「おすそ分け」ください。

「フードバンク」をご存知ですか??

それは「食料銀行」のことです。まだ食べられる安全な食料を地域の皆さまから分けていただき、食べ物を口にできずに困っている人々に提供する活動です。(*^_^*)

人も食べ物も救うことができる、新しい「食のリサイクル」、それが「フードバンク」です。

沖縄市社会福祉協議会では今回も「フードバンクセカンドハーベスト沖縄」の活動に協力します。

来る年末年始に寄せられる「お歳暮」・「お年賀」などから、おすそ分けできるものがございましたら、もよりの公民館などへお届けいただきますよう、心よりお願い申し上げます。



～もったいない～ から ～ありがとう～

食料の流れ



受付期間

2016年 1月 5日～20日

★お問い合わせ★

沖縄市社会福祉協議会

☎937-3385

もしくは、もよりの公民館まで

※土・日・祝日は休館日です。また、寄付は午前10時～12時、午後1時～4時までをお願いします。

米や缶詰345キロ贈る

沖縄市社協 4団体に市民の善意



【沖縄】沖縄市社協 長は16日、市住吉の社世帯へ食料を配布する「フードバンク」(食料銀行)の活動を開始する4団体に対し、市民から集めた米や缶詰を計345キロの食料品を贈った。市社協は「市民の善意で、困窮世帯へ食料を提供する」と、市民に食料品を寄付してほしいと協力を呼び掛けた。問い合わせは沖縄市社協 ☎098(937)3385まで。

琉球新報
平成26年3月19日(土)
※沖縄タイムスでも大きく掲載されました。

食料品は、賞味期限が1カ月以上残っているもので、未開封かつ常温保存が可能なものです。

①お米

一番人気!

②缶詰

何でもOK!

③乾麺

これも重宝

④調味料類

⑤インスタント食品など

※お米だけは、透明な袋に入れて、小分けにしてもOKです。

